巻末資料

巻末資料1　評価の枠組み

評価の枠組み

評価対象：2004 年度以降のわが国の対エチオピア援助政策			
評価視点	**評価項目**	**評価内容**	**情報源／情報収集先**
I. 援助政策の目的	**目的の妥当性**	**1. わが国援助政策のエチオピアの開発ニーズとの整合性** **・国家開発計画との整合性** －エチオピア政府の重点開発分野における開発ニーズ(戦略・計画等。特に 2004 年以降の開発援助環境の変化についての分析を踏まえ)との整合性、わが国の支援実績 **・SDPRP, PASDEP(エチオピア版 PRSP) との整合性** －(前提情報として)エチオピアの国家開発 5 カ年計画(ADLI, 5 カ年計画)と SDPRP, PASDEP との関係性・整合性 **2. わが国援助政策の上位政策との整合性** **・ODA 大綱（新）との整合性** **・ODA 中期政策(新)との整合性** **・グレンイーグルス・サミットでのわが国の対アフリカ支援** **・TICAD 横浜行動計画・東京行動計画** －ODA 大綱(新)、ODA 中期政策(新)の理念・原則や重点課題、TICAD 横浜行動計画・東京行動計画と対エチオピア援助政策の内容の一致度合い **3. 国際的優先課題との整合性** **・NEPAD の整合性** **・ミレニアム開発目標(MDGs)** －国際的な優先課題と対エチオピア援助政策における優先事項の一致度合い －国際的な優先課題と対エチオピア援助政策における優先事項の不一致・矛盾の有無 **4. 他ドナーの支援内容との調和の度合い** **・わが国援助の特性(援助モダリティ、分野、課題)** **・わが国の他ドナーとの協調・連携実績** **・わが国援助の他ドナー援助政策・支援内容との矛盾点の有無** **5. 今後のわが国の対エチオピア援助政策の方向性についての視点(平成 22 年度に改定予定のわが国の対エチオピア国別援助計画へのインプットを念頭に)**	**◆文献調査** **＜日本＞** ・ODA 白書 ・ODA 大綱(新) ・ODA 中期政策(新) ・TICAD 横浜行動計画・東京行動計画目標 ・G8 グレンイーグルス・サミットでの日本の対アフリカ支援策等 ・政策協議文書 **＜エチオピア＞** ・国家開発計画(5 ヵ年計画：第二次(2000-2004) ・ SDPRP(2002/3-2004/5)、PASDEP(2005/6-2009/10) ・ 各セクターの政策文書 ・その他エチオピア関連資料 **＜他ドナー＞** ・他ドナー国・機関の対エチオピア援助政策(世銀 CAS 等) ・援助協調関連資料(PRSC プログラム文書、DAG(Development Assistance Group)等のドナー協議関連資料等) ・MDGs 関連資料 ・TICAD･NEPAD 関連資料 **◆ヒアリング調査** ・わが国外務省(本省・大使館) ・わが国援助実施機関(JICA 本部、現地事務所) ・現地 ODA タスクフォース ・エチオピア政府関係機関・実施機関 ・他ドナー国・機関（含む DAC 参加国）

評価対象：2004 年度以降のわが国の対エチオピア援助政策			
評価視点	**評価項目**	**評価内容**	**情報源／情報収集先**
II. 政策実施の結果	**結果の有効性**	**1. わが国援助の全体の特徴と傾向及び投入の貢献度** **・わが国 ODA の定量的な推移(金額・件数等)** **・エチオピア開発予算に占めるわが国援助資金の割合** **・対エチオピア援助総額に占めるわが国援助の割合** **・わが国の ODA 実施のタイミング** **・官民連携** **2. 重点 5 分野の目標達成度** **「食料安全保障の確立」という目標に照らし、農業生産力の問題と食料アクセスの脆弱性の克服に向けてどのように日本の援助が投入されたかを評価する。** **(1)農業・農村開発、(2)生活用水管理、(3)社会経済インフラ、(4)教育、(5)保健に関連する各分野における以下の状況：** **・分野別下位計画(個別事業等)の策定・実施状況(インプット)** －わが国 ODA の定量的な推移(金額、件数) －対エチオピア援助総額に占めるわが国援助の割合 －重点 5 分野についてのわが国 ODA の実施数量(金額、件数等) －分野別・援助形態別プロジェクト件数 －わが国の ODA 実施のタイミング　等 **・分野別アウトプット目標の達成状況・見込み** －わが国 ODA がもたらした直接的な変化量。裨益地域・裨益者の増加等。（例：プロジェクト地域での農業生産性の向上、安全な水へのアクセス率の改善、機材供与した数および増加数、整備した道路の延長距離等） －重点 5 分野の目標達成度：各セクターの開発実績(定性的評価を含む)　等 **・分野別アウトカム目標の達成状況・見込み** －貧困削減に係る指標の動向(MDGs 主要指標及びその他開発指標の推移等) －経済成長に係るマクロ指標の動向 －上記課題を踏まえた今後の方向性 **3. 重点 5 分野以外の新たなイシューへの取組** **・産業開発(カイゼン、政策対話)、成長支援、都市型環境問題等** (「選択と集中」の視点を念頭に、4. の今後のわが国の援助政策の方向性とあわせて検討) **4. 今後のわが国の対エチオピア援助政策の方向性についての視点(平成 22 年度に改定予定のわが国の対エチオピア国別援助計画へのインプットを念頭に)**	**◆文献調査** ・ODA 白書 ・実施機関年次報告書(JICA) ・各種事業評価報告書 ・大使館・JICA 現地事務所の PR 広報資料 ・ODA タスクフォース活動報告書 ・エチオピア政府統計資料 ・エチオピアにて収集するデータ ・国際機関等の統計資料 **◆ヒアリング調査** ・わが国外務省(本省・大使館) ・わが国援助実施機関(JICA 本部、現地事務所) ・現地 ODA タスクフォース ・エチオピア政府関係機関・実施機関 ・日本・エチオピアの市民団体・NGO 等 ・エチオピアのマス・メディア ・他ドナー国・機関（含 DAC 参加国）

評価対象：2004 年度以降のわが国の対エチオピア援助政策			
評価視点	**評価項目**	**評価内容**	**情報源／情報収集先**
III. 政策策定・実施プロセス（仕組み、手続き、調整)	**プロセスの適切性**	**1. 政策を案件として形成するプロセスの適切性** **・エチオピア側(政府・実施機関等)との協議枠組み(メンバー構成、回数・頻度、スケジュール・定期性、協議内容、結果、変遷、等)** **・エチオピア側との協議状況** **・エチオピア側のオーナーシップの度合い** **・エチオピア側のニーズの案件への反映度** **・エチオピア側のわが国援助政策に対する理解度** **・他ドナー国・機関、NGO 等との協議状況** **・わが国実施機関・関係省庁との連携・協議状況** **・わが国実施機関の事業実施計画・業務実施方針やセクター別援助方針の援助政策との整合性** **・わが国実施機関の事業実施計画・業務実施方針やセクター別援助方針の案件への反映状況** **・わが国の経験・比較優位性の検討状況** **・スキーム間の連携状況** **2. 案件形成・実施のプロセスにおける連携協議状況** **・エチオピア側(政府・実施機関)との協議・連携枠組み(メンバー構成、回数・頻度、スケジュール・定期性、協議内容、結果、変遷、等)＜全般・事例＞** **・エチオピア側(政府・実施機関)との連携・協議状況** **・わが国実施機関の組織・人材配置・モニタリング体制** ・わが国政策立案組織と実施組織の連絡・協議実績(メンバー構成、回数・頻度、スケジュール・定期性、協議内容、結果、変遷、等) ・わが国の経験・比較優位性の検討状況 **3. 特徴的なアプローチをとった案件の分析** **・プログラム化、スキーム間の連携状況等** **4. 国際機関・他ドナー・地方自治体・NGO 等との援助協調・連携の適切性** **・他ドナー国・機関、NGO 等との協議枠組み(メンバー構成、回数・頻度、スケジュール・定期性、協議内容、結果、変遷、等)** ・他ドナー国・機関、地方自治体・NGO 等との協議枠組み、協議状況 **・国際機関を通じた援助、国際機関・他ドナーと連携が行われた取組・案件** **5. わが国援助の広報、理解度** **・わが国の広報の取組** ―他ドナー国・機関、NGO、市民社会等のわが国援助の認知度 **6. 今後のわが国の対エチオピア援助政策の方向性についての視点(平成 22 年度に改定予定のわが国の対エチオピア国別援助計画へのインプットを念頭に)**	**◆文献調査** ・外務省資料（政策協議資料等） ・　わが国実施機関(JICA)の事業実施計画、業務実施方針、セクター別援助方針 ・　事業展開計画（ローリングプラン） ・わが国実施機関における計画・案件形成・案件実施段階の資料(フロー等を含む) ・プログラム、プロジェクト報告書 ・ODA タスクフォース活動報告書 ・エチオピア政府における計画策定・実施関連資料(組織図・実施体制を含む) ・援助協調関連資料 **◆ヒアリング調査** ・わが国外務省(本省・大使館) ・わが国援助実施機関(JICA) ・現地 ODA タスクフォース ・エチオピア政府関係機関・実施機関及び NGO ・他ドナー国・機関（含 DAC 参加国）

巻末資料２ 現地調査日程
エチオピア国別評価現地調査

１. 現地調査団

大野	泉	評価主任
西	真如	アドバイザー
平井	里絵	外務省事務官
島村	真澄	コンサルタント
若杉	健次	コンサルタント
井ノ口	一善	コンサルタント

２. 現地調査日程

日順	月日	曜日	時間	行程
1	10月10日	土	午前	
			午後	羽田発
2	10月11日	日	午前	アディスアベバ着
			午後	チーム内打ち合わせ
3	10月12日	月	午前	10:15-11:15 農業農村開発省訪問 11:30-12:30 水資源省訪問
			午後	昼食（12:30-）：FAO里山職員 15:00-16:00 在エチオピア大使館経済協力担当官（含む草の根外部委嘱員）との面談 16:40-17:30 財務経済開発省訪問
4	10月13日	火	午前	08:00-09:00 DFID訪問 09:30-12:30 JICA訪問（所長、次長及び各セクター担当官との面談）
			午後	昼食（12:00-）：鈴木専門家（農業農村開発省派遣） 14:00-14:50 財務経済開発省（二国間援助担当）訪問 15:30-16:30 世界銀行訪問 16:30-17:45 WFP訪問
5	10月14日	水	午前	09:00-09:40 伊藤書記官との面談 10:15-11:15 農業農村開発省（Disaster Risk Management and Food Security Sector）訪問 11:30-12:30 USAID訪問
			午後	昼食（12:00-）：高城専門家（橋梁維持） 14:30-15:30 エチオピア道路公社訪問 16:00-16:45 教育省訪問 17:00-18:00 FAO訪問
6	10月15日	木	午前	07:45-08:30 貿易産業省訪問 09:30-10:30 GTZ訪問
			午後	昼食（12:30-）：WFP古賀職員 15:00-15:30 オロミア州政府水資源局訪問 15:45-16:30 三菱商事訪問 17:00-17:40 オロミア州保健局訪問
7	10月16日	金	午前	08:15-09:30 世界銀行RCBPユニット訪問 11:00-11:40 エチオピア投資庁訪問
			午後	昼食（12:30-）： 世界銀行磯貝氏 15:00-16:45「アディスアベバ市有機循環農業による女性自立支援計画」視察 17:00-18:00 オロミア州政府教育局訪問
8	10月17日	土	午前	地滑り地域視察（大野主任、平井事務官）
			午後	議事録作成、資料整理
9	10月18日	日	午前	議事録作成、資料整理
			午後	議事録作成、資料整理
10	10月19日	月	午前	9:30-1200 FRGプロジェクト実施サイトを訪問
			午後	14:30-15:00 ManaBUプロジェクトサイトの視察 16:00-17:30 池内専門家（灌漑プロジェクト）との面談
11	10月20日	火	午前	09:00-12:00 ファンターレ灌漑事業地視察
			午後	16:00 アディスアベバ着
12	10月21日	水	午前	10:20-11:00 農業資材供給公社訪問 11:00-12:30 EWTEC視察
			午後	13:00-15:30 チーム内打ち合わせ 16:30-18:00 笹川アフリカ協会
13	10月22日	木	午前	議事録作成
			午後	昼食（11:45-）UNICEF岡村氏 13:30-14:30 CDI訪問 15:00-16:00 CRDA訪問 17:00-18:00 UNDP訪問
14	10月23日	金	午前	現地ODA TFへの報告
			午後	アディスアベバ発

巻末資料３　面談者リスト

日本側関係者		
在エチオピア日本大使館	駒野　　欽一	特命全権大使
	竹中　　一行	一等書記官
	北村　　義典	一等書記官
	横田　　暁子	二等書記官
	伊藤　　英知	二等書記官
	舛田　　直樹	二等書記官
	関　　千種	経済協力調整員
	田中　　久美子	草の根外部委嘱員
	村上　　優子	草の根外部委嘱員
	濱谷　　美代	草の根外部委嘱員
JICAエチオピア事務所	佐々木　　克宏	所長
	晋川　　眞	次長
	中村　　貴弘	所員
	二見　　伸一郎	所員
	鈴木　　桃子	所員
	渡辺　　英樹	所員
	知久　　奈穂子	企画調査員
	日野　　類子	企画調査員
	鈴木　　尚登	専門家（農業）
	高城　　信彦	専門家（橋梁）
	池内　　透	専門家（灌漑）
	Ishi　　Tamaotsu	専門家(水・給水)
	Kawaide　　Eiko	専門家（Cobana Project）
	Mr. Steven Sundstrom	専門家（水・給水）

エチオピア側関係者		
財務経済開発省	H. E. Ato. Ahmed Shide	State Minister
	Mr. Tilafun Tadesse	Bilateral Cooperation Sub-process Owner External Resource Mobilization & Management Process
	Mrs. Asnarech Teferra	Senior Expert, Bilateral Cooperation Sub process External Rsources Mobilization & Management Process
農業農村開発省	Dr. Abera Deressa	State Minister
	Mr. Berhanu Woldemichael	Director, Food Security Coordination Directoriale
教育省	Mr. Fuad Ibrahim	State Minister
水資源省	Mr. Asfaw Dingamo	State Minister
貿易産業省	Mr. Tadesse Haile	State Minister
エチオピア道路公社（ERA）	Ato Zaid Woldegebriel	General Manager
	Mr.Bekele Negussie	Manager, Planning & Programming Division
エチオピア投資庁（EIA）	Mr. Aklilu Woldemariam	Director of Invest Promotion
農業資材供給公社(AISE)	Mr. Mebrahtu G/Egziabher	General Manager
オロミア州教育局	Dereje Asfaw Jetu	局長
オロミア州水資源局	Mr.Hassan Nuur Mohaamad	局長
	Mr.Samuel Hussen	灌漑担当
	Mr.Leuessa Mekouta	Water Supply, Sanitation & Hygiene (Wash)Programme Coordinator
オロミア州保健局	Dr. Taye Tolera	MD, MPH (副局長)
メルカサ農業試験場	Dr. Sategn Centre Firector	Center Director of Melkassa Agriculture Research Center
	Mr. Bedru Beshir	
	Mr. Endeshaw Habte	Agricultural Economics, Research Extension and Farmers Linkage
EWTEC	Mr. Markos Tefera	Head of EWTEC

現地ドナー関係者		
世界銀行	Mr. Ken Ohashi	Country Director for Ethiopia and Sudan
	Ms. Yuki Isogai	Private Sector Development Advisor
世界銀行RCBPユニット	Dr. Achim Fock	Senior Economist, Agriculture and Rural Development
	Dr. Mandefro Nigusse	RCBP Coordinator
WFP	Ms.Sonali Wickrema	Head, Programme Unit
	Mr.Getanun Amogne	Donor Relations Officer
	Ms. Miyuki Koga	Programme Officer
FAO	Mr. Mafa E. Chipeta	Sub Regional Coordinator for Eastern Africa and FAO Representative in Ethiopia to the African Union and UN-ECA
	Ms. Susan Minae	Agribusiness & Enterprise Development Office Sub Regional Office for Eastern Africa
	Mr. Takanori Satoyama	Policy Officer, FAO Sub Regional Office for Eastern Africa
	Ms. Bezuayehu Berahunu	Agriculture Growth Program担当として、世界銀行に出向中
UNDP	Mr. Fidele Sarassoro	Resident Coordinator
	Dr. Victoria Chisala	Programme Coordinator DAG Secretariat
	Ms. Anne Jupner	Team Leader of Business Development
UNICEF	Ms. Kyoko Okamura Shibata	Nutrition Specialist
USAID	Dr. Kevin Smith	Supervisory Program Officer
	Ms. Tessa Milofsky	Safety Net Advisor
	Mr. John Edgar	Agriculture Development Officer
DFID	Mr. Howard Taylor	Head
GTZ	Ms. Nicole Happner	Deputy Director
	Mr. Martin Dirr	Urban Development Expert
	Dr. Girma G. Medhin	SLM Advisor

その他面談団体		
CRDA	Dr. Meshesha Shewarega	Executive Director
	Ms. Tsehay Admass	Coordinator of NGO-JICA Japan desk and Senior Resource Mobilization and Marketing Officer
CDI	Mr. Miesso Nebi Gemeda	Managing Director
笹川アフリカ協会	間遠　　登志郎	ダイレクター
三菱商事	Mr. Masato Kume	General Manager

巻末資料４　参考文献

和文　参考文献

外務省　国別援助計画：エチオピア　2008
　http://www.mofa.go.jp/mofaJ/gaiko/oda/seisaku/enjyo/pdfs/ethiopia0806.pdf
外務省　国別援助形態別の援助実績
外務省　政府開発援助（ODA）国別データブック　2005
外務省　政府開発援助（ODA）国別データブック　2006
外務省　政府開発援助（ODA）国別データブック　2007
外務省　政府開発援助（ODA）国別データブック　2008
国際協力機構　プロジェクト情報
　http://gwweb.jica.go.jp/
国際協力機構エチオピア事務所　対エチオピア国別援助ニーズ分析－JICA 国別事業実施計画・ポジションペーパー基礎情報　2009
在エチオピア日本大使館　産業別エチオピア経済事情調査報告書　2008
政策研究大学院大学（GRIPS）開発フォーラム　エチオピア出張報告（第４回）　2009
　http://www.grips.ac.jp/forum/pdf09/ethiopia(June).pdf

英文　参考文献

エチオピア政府文書

Agricultural Development Led Industrialization
Agricultural Sample Survey 2003/2004, 2004/2005, 2005/2006, 2006/2007, 2007/2008
Education Sector Development Program II (ESDP II) 2002/2003-2004/2005 Program Action Plan, 2002
Education Sector Development Program III (ESDP III) 2005/2006-2010/2011 Program Action Plan, 2005
Food Security Strategy, 2002
Food Security Programme, Monitoring and Evaluation Plan, 2004-2009
Health Sector Strategic Plan, 2005/2006-2009/2010
PASDEP Annual Progress Report 2007/2008, 2009
Plan for Accelerated and Sustainable Development to End Poverty (PPASDEP), 2005/2006-2009/2010
http://siteresources.worldbank.org/INTETHIOPIA/Resources/PASDEP_Final_English.pdf
Productive Safety Net Programme, Programme Implementation Manual, 2006
Progress Towards Achieving the Millennium Development Goals: Success, Challenges and Prospects, 2008
Review of Food Security Programme
Road Sector Development Plan I, II, III
Rural Development Policies,Strategies and Instruments of the Government of the FDRE, 2001
Sustainable Development and Poverty Reduction Program (SDPRP),
http://siteresources.worldbank.org/INTPRS1/Resources/073102.pdf
Water Sector Development Programme 2002-2016, 2002

その他機関等

AfDB/OECD African Economic Outlook 2008
AfDB/OECD African Economic Outlook 2001/2002
African Development Bank 2006-2009 Country Strategy Paper (CSP) for Ethiopia
African Development Bank Group, Ethiopia Country Assistance Evaluation 1996-2007, 2008
Development Assistance Group Ethiopia
http://www.dagethiopia.org/Pages/default.aspx
DFID, http://www.dfid.gov.uk/Where-we-work/Africa-Eastern--Southern/Ethiopia/Major-challenges/
Embassy of Japan, Ethiopia,
http://www.et.emb-japan.go.jp/sakura_meskel_home.html
Ethiopia-European Community Country Strategy Paper and National Indicative programme for the period 2008-2013
FAOSTAT
http://faostat.fao.org/site/339/default.aspx
FAO/WFP, Crop Food Security Assessment Report, 2004-2009
International Monetary Fund, The Federal Democratic Republic of Ethiopia: 2008 Article IV Consultation-Staff Report, 2008
Joint Financing Arrangement between the Federal Democratic Republic of Ethiopia and Development Partners on Support to the MDG Fund,
http://www.internationalhealthpartnership.net/pdf/IHP%20Update%2013/Mali/Final%20JFA%2011%2003%2009.pdf
OECD, Credit Reporting System Online Database, 2009
OECD, 2008 Survey On Monitoring The Paris Declaration Effective Aid By 2010? What It Will Take, 2008
http://siteresources.worldbank.org/ACCRAEXT/Resources/Full-2008-Survey-EN.pdf
OECD, Development Assistance Committee, DAC Peer Review Germany, 2006
http://www.oecd.org/dataoecd/54/0/36058447.pdf
World Bank Country Assistance Strategy, 2008 – 2011
World Bank, Country Profile, Ethiopia
http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/DATASTATISTICS/0,,contentMDK:20535285~menuPK:1192694~pagePK:64133150~piPK:64133175~theSitePK:239419,00.html
World Bank, Project Appraisal Document for a Productive Safety Net APL III Project, 2009
World Bank World Development Indicators
http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/DATASTATISTICS/0,,contentMDK:21725423~pagePK:64133150~piPK:64133175~theSitePK:239419,00.html
World Food Programme, Country Programme-Ethiopia 2007-2011, 2006
http://www.wfp.org/content/country-programme-ethiopia-2007-2011

巻末資料 5　日本の対エチオピア援助　目標体系図(1/2[1])

ODA大綱・ODA中期政策

新政府開発援助大綱(2003年8月)における基本方針

1. 開発途上国の自助努力(オーナーシップ)支援
2. 「人間の安全保障」の視点
3. ジェンダーの視点や社会的弱者への配慮を含めた公平性の確保
4. 政策全般の整合性の確保を含めた我が国の経験と知見の活用
5. 南南協力の推進を含めた国際社会における協調と連携

新ODA大綱(2003年8月)における重点課題

1. 貧困削減
2. 持続的成長
3. 地球的規模の問題への取り組み
4. 平和の構築

新政府開発援助に関する中期政策(2005年2月)における重点課題

1. 貧困削減
2. 持続的成長
3. 地球的規模の問題への取り組み
4. 平和の構築

＜援助政策の立案および実施＞

1. 援助政策の立案および実施体制
   - ・政府全体として一体性と一貫性のある援助政策の立案
   - ・関係府省間の連携
   - ・政府と実施機関の連携
   - ・政策協議の強化
   - ・現地機能の強化
   - ・NGO等の援助関係者との連携
2. 国民参加の拡大
   - ・国民各層の広範な参加
   - ・援助人材の育成と開発研究
   - ・開発教育
   - ・評価の充実
   - ・適正な手続きの確保
   - ・不正や腐敗の防止、監査
   - ・援助関係者の安全確保

TICADプロセス下における対アフリカ支援方針

＜対アフリカ支援の基本的考え方＞→NEPAD(アフリカ開発のための新パートナーシップ)理念と共有
アフリカのオーナーシップの重視
国際社会のパートナーシップの拡大
　アフリカの独自性、多様性、アイデンティティの尊重
　「人間の安全保障」の確保
　「南南協力」の推進

＜我が国の取り組み＞

1. 平和の定着：和平プロセスの促進から紛争後復興後に至るシームレスかつ包括的な支援
2. 人間中心の開発：持続的開発のための人的資源開発
3. 経済成長を通じた貧困削減：アジアの開発経験の共有・移転

＜TICAD IV横浜宣言で示された開発課題＞

1. 成長の加速化
2. MDGs達成(人間の安全保障の確立)
3. 平和の定着とグッド・ガバナンス
4. 環境・気候変動問題への対応
5. パートナーシップの拡大

対エチオピアODAの意義

エチオピアは旱ばつ、飢餓、長年の内戦・紛争による難民・国内避難民の発生等の問題を抱えており、現政権は民主化及び経済開発を進めつつ、貧困削減等の開発課題に取り組んできている。こうした取組をODAによって支援することは、ODA大綱の重点課題である「貧困削減」の観点からも意義が大きい。

また、同国では旱ばつ等の自然災害や内戦・紛争による難民・国内避難民の発生といった人間の尊厳に対する直接的な脅威が存在することから、こうした脅威への対策をODAにより支援することは「人間の安全保障」の観点からも重要。

[1] 上図右側上部の「対エチオピア ODA の意義」より、次ページの図を参照。

巻末資料５　日本の対エチオピア援助　目標体系図(2/2)

対エチオピアODAの意義	基本方針	重点分野	開発課題	有償資金協力	無償資金協力 一般無償	無償資金協力 草の根・人間の安全保障	技術協力 技術協力プロジェクト	技術協力 開発調査	国際機関を通じた支援
エチオピアは旱ばつ、飢餓、長年の内戦・紛争による難民・国内避難民の発生等の問題を抱えており、現政権は民主化及び経済開発を進めつつ、貧困削減等の開発課題に取り組んでできている。こうした取組をODAによって支援することは、ODA大綱の重点課題である「貧困削減」の観点からも意義が大きい。 また、同国では旱ばつ等の自然災害や内戦・紛争による難民・国内避難民の発生といった人間の尊厳に対する直接的な脅威が存在することから、こうした脅威への対策をODAにより支援することは「人間の安全保障」の観点からも重要。	食料アクセスの脆弱性の克服（食料安全保障の確立）	農業・農村開発	農業生産性向上		貧困農民支援(E/N2007, 4.5億円、2005, 4.48億円) 食糧増産援助(E/N2004, 4億円) 食糧援助(E/N2007, 5.3億円、2006, 4.6億円、2005, 4億円、2004, 2億円) ノンプロジェクト無償（肥料）(E/N 2008, 10億円)	農業生産性向上に資する支援 14件, 124.0百万円	営農技術開発・普及プロジェクト（2009-, 5億円) 小規模農民のための優良種子振興プロジェクト(2009-, 3.7億円) 農民支援体制強化計画プロジェクト(04.07-09.07) 灌漑設計・施工管理能力向上プロジェクト(09.06-12.05) 灌漑農業改善プロジェクト(05.09-08.09)	アムハラ州流域管理・生計改善計画(08.01-11.03) オロミア州中央地域灌漑開発人材育成計画調査(03.04-04.11)	エチオピアにおけるツェツェ蝿及びトリパノソーマ症の除去地帯の確立による地域社会の農業・牧畜開発支援（人間の安全保障基金）(2005, 1.95億円) 灌漑・排水路プロジェクト(PHRD経由)（2005, US$700,000） 食糧援助(WFP経由)（2008, 8.6億円） 食糧価格高騰問題対応支援(UNICEF, WFP, IFRC経由)（-2009, 13百万USD）
			農産物流通改善				農産物流通改善に資する支援 3件, 30.0百万円	一村一品促進（2009-, 3.7億円）	南部諸民族州農産物流通改善計画（2009-, 3.7億円）	
		生活用水の管理	安全な水へのアクセス向上		ティグライ州地方給水計画（詳細設計）(E/N2010, 1.04億円) オロミア州給水計画1/3(E/N2009, 2.13億円) 緊急給水計画(E/N2008, 8億円) 地下水開発機材整備計画(E/N2008, 5.57億円) オロミア州給水計画（詳細設計）(E/N2008, 0.28億円) ティグライ州地方給水計画（詳細設計）(E/N2007, 0.26億円) アファール州給水計画1/2(E/N2007, 3.16億円) アファール州給水計画2/2(E/N2007, 2.28億円) 南部諸民族州給水計画(2/2)(E/N2005,5.44億円) アファール州給水計画（詳細設計）(E/N2006, 0.23億円) 南部諸民族州給水計画(1/2)(E/N2005, 5.17億円) アムハラ州給水計画(E/N2005, 4.99億円) 日本NGO連携無償（水供給・衛生教育プロジェクト）(E/N2007,0.04億円)	安全な水へのアクセス向上に資する支援 27件, 210.0百万円	地下水開発・水供給訓練計画フェーズ3(09.01-13.12) 南部諸民族州給水技術改善計画(07.12-11.12) 地下水開発・水供給訓練計画プロジェクトフェーズ2（ウォーターテクノロジーセンター）(05.01-08.03)	リフトバレー湖沼地域地下水開発調査計画(2009-, 3億円)	タナ・ベレス水資源開発プロジェクト(PHRD経由)(2006, US$1,000,000)
		社会経済インフラ	道路・橋梁整備		第三次幹線道路改修計画（国債4/4)(E/N2005, 6.76億円) 第三次幹線道路改修計画(国債3/4)(E/N2005,16.29億円) 第三次幹線道路改修計画（国債2/4)(E/N2005,16.17億円) 第三次幹線道路改修計画(国債1/4)(E/N2005, 9.10億円) 第三次幹線道路改修計画（詳細設計）(E/N2004, 1.91億円) 第二次幹線道路改修計画(3/3) (E/N2002, 13.52億円)	道路・橋梁整備への支援 1件, 9.8百万円	橋梁維持管理能力向上プロジェクト(07.01-10.01) アレムガナ道路建設機械訓練センタープロジェクト(02.04-06.03)	アバイ渓谷地滑り対策調査プロジェクト(2009-, 3億円)	地域インフラに対する分権化された財政支援グラント(PHRD経由)(2005, US$495,000)
		教育	初等教育のアクセスと質の向上		オロミア州小学校建設計画(E/N2007, 10.41億円) 第二次遠隔地教育機材計画(E/N2003, 1.96億円) 日本NGO支援無償（ラスタ県ナウテラブ地区における初等教育の質的改善事業）(E/N2008, 0.11億円) ノンプロジェクト無償（アディスアベバ市小中学校建設計画）(E/N 2009, 6億円)	初等教育のアクセスと質の向上に資する支援 64件, 584.9百万円	住民参加型初等教育アクセス向上プロジェクト(08.09-12.09) 住民参加型基礎教育改善プロジェクト(03.11-08.03)	オロミア州初等教育アクセス向上計画（スクールマッピング・マイクロプランニング）調査(05.04-07.06)	
						中等教育への支援 11件, 96.1百万円			
						職業教育への支援 6件, 56.8百万円			
						その他教育分野への支援 7件, 54.3百万円			
		保健	地域保健サービスの向上			地域保健サービスの向上に資する支援 15件, 135.3百万円	母子栄養改善プロジェクト(08.11-13.11) ポリオ対策プロジェクトフォローアップ協力(05.03-05.03) ポリオ対策プロジェクト(01.04-04.04) アムハラ州感染症対策強化プロジェクト(08.01-13.01)		栄養プロジェクト(PHRD経由)(2008, US$550,000) 小児感染予防計画(UNICEF経由)（2007, 1.25億円） 小児感染予防計画(UNICEF経由)（2006, 5.29億円） 小児感染予防計画(UNICEF経由)（2005, 5.42億円） 小児感染予防計画(UNICEF経由)（2004, 3.66億円）
		その他	緊急援助・食糧援助			緊急援助・食糧援助 1件, 10.0百万円			イエメン共和国及びその周辺国における砂漠バッタ異常発生対策に対する緊急支援計画(FAO経由)（2007, 2.3億円） 食糧安全保障特別プログラム（人間の安全保障基金）(2004, 1.4億円)
			産業開発			その他の援助 16件, 141.5百万円		品質/生産性向上計画調査(2009-)	
			気候変動対策				ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2(06.10-10.09) ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画プロジェクト(03.10-06.09)		
			その他	債務救済措置 (E/N 2006, 16.66億円)	エチオピア国立博物館人類化石関連機材整備計画（文化無償）(E/N2008, 0.4億円) エチオピア国立図書館に対するマイクロフィルム機材供与(E/N2004, 0.5億円) ノンプロジェクト無償(E/N2004, 5億円)				エチオピア・ソマリ州における国内避難民およびソマリア難民の受け入れコミュニティに対する支援（人間の安全保障基金）(2006, 1.6億円) フンボおよびソッドのコミュニティ管理による天然更新プロジェクト(PHRD経由)(2006, US$189,850) 民間セクターのキャパシティ・ビルディング(PHRD経由) (2004, US$750,200) 第2次貧困削減支援融資(PHRD経由)(2004, US$763,585)

注1．草の根・人間の安全保障は、2008年度までの合計。
注2．上記案件に加え、2009年度には産業政策支援対話も実施している。